

瑞雲

直方鉄工青年会

第 12 号

新会長の抱負



会 長 小 野 原 計 顕

此の度佐田会長の後任として七代会長に就任して、先輩会長の実績の上に立ち行事の完遂に責任の重大さを痛感いたしている次第です。

今年は例年とかわり総会前迄は地方統一選挙に、前会長のもとに鉄工青年会一丸となって運動を展開したのであります。それに依って各界より鉄工青年会の存在を大いに認識される立場となったのであります。

今年度も前会長より申送り事項の四委員会制を実施する予定であります。特に今年は創立の時点にもう一度戻って、我々が経営して行く為の第一歩である、労務厚生問題に重点を置き、各企業の職員、従業員の皆様と懇談会を開き、直接肌を合せた話し合いなどに重点を置いて今後の行事を進めて参りたいと思います。

運動会又は慰安会、職場対抗の野球大会、従業員との懇談会、従業員、職員を交えて野外パーティ、雇用研究会、その他の行事を実施し、我々鉄工青年会員の一番尊い財産である、従業員に対する我々の立場と云うものを各企業の末端迄滲透させる様に努力したいと考えています。

此の実行によって楽しい、明るい職場作りを実現し、新入社員の雇用並に直方市内より他地区に通勤就職をされている方々を、この直方地区の企業に定着される様に努力したい。

すでに御承知の通り各委員会の活動方針を要約しますと

- 1、総務委員会 例会場の設置及進行、工場見学、懇親旅行等、企画推進、会員相互の親睦と研修
- 2、広報委員会 会報の発行運営の内容を内外団体へPRする
- 3、経営委員会 鉄工業の経営に対しての金融、税務技術等の研修を行い、会員相互の研究機関としての行事を担当する
- 4、労務、厚生委員会 雇用問題、運動競技、リクレーション、従業員定着対策等。

我々の身近かな問題を取上げて実施する所存で御座います。どうぞ会員の各位はもとより、業界諸先輩の御支援を切に御願いたします。

10周年を目標に会員の総力を結集しよう



「思うままに」

昭和12年10月台湾の嘉義飛行場より支那に渡り支那事変に参加、当時重爆部隊だった故、地上の整備兵として、また上等兵の時には早くも機上機関員として飛行機に乗り始め、伍長の時には重爆撃機1機を与えられ、部下と共に地上整備に専念し、作戦の時には飛行機に塔乗し「エンジン」の調整をしたり、燃料タンクの切替、爆撃後の航空写真の撮影、敵機がくれば銃座につく、そうして無事基地に帰ればまた明日の作戦に備え整備をと、くりかえし、くりかえしの日々。

其の間、敵の銃砲火にあい墜落、或は「エンジン」の故障等で敵地に自爆、あたら尊い命をなくし、この世から消え去っていった先輩、同年兵の姿を見ているうち、自分の整備する飛行機は絶対に落ちないんだ、落さないんだという確心をもつこと、その為にも飛行中故障がおきないように真剣に努力をし、如何なる空中勤務者といえども安心して塔乗できるべくするのが自分の最大の任務であるとしてやってきた次第です。

その為には自分の班の整備兵お互が一心同体、班長を中心として一致団結が一番大事じゃないでしょうか
然し「言うは易く行い難し」でなかなかむづかしいことです。

昭和15年4月所沢陸軍整備学校に入校しましたが全員本科出身 しかも整備の「ベテラン」が多い故学校の助教が反対に学生から教えられる始末、卒業時期には全員が各学校付となったわけですが、私は太刀流陸軍飛行学校付、大邱分校勤務となり、飛行機並に発動機、其の他各修理工場及整備班の係となり、修理をした飛行機を操縦訓練機として使用する場合、最後の地上試運転の「レバー」は自分で握り、そうして第1回の試験飛行は操縦者と私と2人で試験飛行を行い安全の確認をして第1線にだしていた次第です。

勿論尊い人命に関することです故慎重を期することは誰でも同じと思いますが、誰にも負けない熱意と整備に関しては細心の注意を念頭においてやってきました。

戦後30才代で色々公の仕事をする様になりましたが、若い私等が暴走しない様、副なり相談役には或る程度の年配者になっていただき、時には苦言を聞きまた素直に受入れるべく努力したいものです。

自分一人なら失敗してもまた自分で取りかえしがきますが、事、公となるとそうは参りません。

直方鉄工協同組合

副理事長 村井 源久



確に時代の流れは急速且多種多様であります。若い人達と年配の人との考え方も違うかも知れません。然しこのことは何時の時代にもあることです。自動車でも100kmの速度許りで走っていると事故も多いと思います。時には30km、40kmに速度を落し、或は停止する必要もあるのではないのでしょうか。之は現在の日本人全部にあてはまることと思います。

鉄工青年会発足当時と思いますが、私はある人に「直方鉄工界も二世、三世の時代には大きく変わるのではないだろうか、勿論良い方に、私はその様に確信する」と話をした事をおぼえています。

青年会の総会が飯塚の鴻の池でありました時に、私は挨拶のなかで現在他社に勤めている長男が加えてきたならば、先ず第1番に青年会のメンバーに加えていただきたいと申したことがあります、その心境は私は何時迄も変らぬと想います。

駄弁を弄しましたが、最後に会員諸氏の御健斗を御祈り致しますと共に、直方鉄工協同組合運営に御協力下さる様御願ひ致します。



“休憩室、

忘れものをして金をためる人

始終食堂や電車の中に傘を忘れる会社員が、誕生日に新しい傘をもらった。彼はその傘の柄に自分の住所氏名とこういう文句を書いた札をテープで貼りつけた「この傘を見つけた方は、どうか私に返さないで、そのまま持っていて下さい。その代わり、私に1ドルお送りください」

はたして、1週間ほどたつと、彼はその傘をなくした。それは6ヶ月前のことだった。そして今日迄に彼は11ドルの金を受け取った。

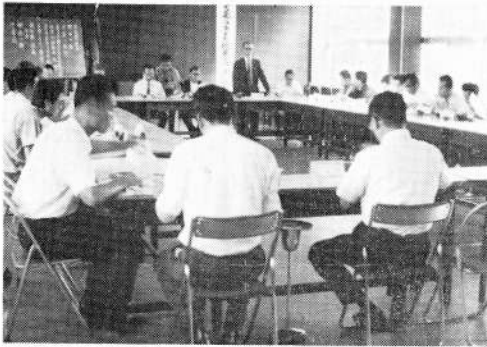
誘 惑

或るデパートで上品な婦人が一心に陳列品を見つめていた。早速店員が近づいて「奥様、何を差上げましょうか」婦人平然として「いや別に、私は眺めているだけです、そして忍耐力をためしているのです」。

46 / 6 ~ 47 / 4 行 事 企 定 表

6.16 例会にて 直方鉄工青年会

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
労務厚生委員会	求人懇談会			野外パーティー	運動会 は慰安会						野球大会	
経営委員会		セミナー 国際情勢 と岡栄一	吉岡栄一 と岡栄一	中堅幹部 懇談会			セミナー					
総務委員会	例主の 会脳部と 市と			例 会		例 会	懇親旅行 工場見学	例 会	新年宴会	例 会	例 会	総 会
広報委員会		会 報			会 報		会 報				会 報	



… 求人懇談会 …

ゲスト (卓話) 要約

④川原市長談

① 広地域行政を基本姿勢として進んでいきたい。

⑤坂口県議

① 選挙戦の御礼

② 県議会の様子を簡単に説明

③ 今後の抱負として広域的に長期的な視野をもって案をねり、具体的な方向にもってゆきたい。主体は常に市民であるので積極的な意見をどしどし述べてもらい、それが市政、県政におこまれていかねばならない。

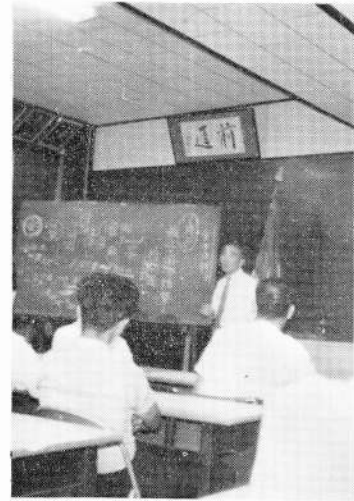
④ 県議会の今年の方針を大体の予算金額を提示しながら説明された。

⑥藤永市議会議長談

① 与、野党の調整をしつゝ、川原市長の推進あるいは監督批判をおりこんで進んでいきたい。

⑦安東助役

① 市長の補佐役として参加していきたい。



… 国際情勢と岡問題 …

その後、会員より活発な質問が出、それぞれの当事者が説明され、県政、直方市政の今後の方針がある程度理解できた。
6月16日



… 市首脳部との懇談会 …

飯野鉄工協同 組合の紹介

(設立の主旨と発起人)

経済成長スピードが異状に早いので企業経営も益々困難になっていく。もはや一個人の力では存続する事さえも危ぶまれる時勢である。賃金は4年で2倍となる。現在勤労者の平均賃金は75,000であるが昭和50年には155,000になると日銀調査部で警告している。親企業より発注される傾向として、製品の大形化及び数量の増大化が顕著になってきた。



現状のままで先細りの道を歩むか。それとも明るい広々とした働き易い工場団地へ勇気を振って進出するか。二者択一に迫られた。幸い直方には団地が造成済みで、好条件で土地建物を分譲されることになっている。ここは一つ思い切って国の施策に乗っかってみようという決心するに至った。そもその発起人はファイトマン飯野大三郎であった。

(メンバー)

小さなグループでもよいから気の合った者同志が何かにつけて纏りがよい。又、心の底から苦楽を共にせねばならない。かくて従来から深い繋りがあった次の5社で組合を結成した。

1. (株)飯野鉄工所社長 飯野精一郎
2. (有)飯野鑄造所社長 飯野大三郎
3. (有)飯野工業所社長 飯野信太郎
4. 協和本型製作所所長 田中俊雄
5. 半田鉄工所所長 半田久

(経過)

昭和43年3月団地進出の方針決定、45年3月工場建設起工式、同年8月10日完工式。この間約2年半を要したが、思えば随分永い間事業団の方々は勿論

直接手とり足とりして御指導を賜わった市商工課加藤課長及北山課長補佐に御礼の申し上げ様もない。事業団、中金等関係官庁へ足を運ぶ事85回に及んでいる。本当に市当局には御迷惑を掛けまして申訳なき次第です。

(規模及総額)

総面積	6,800坪	3,600円	2,450万円
建坪	1,200坪	97,000円	11,650万円
飯野鉄工	280坪	(巾15m×長60m)	
飯野鑄造	320	(15×70)	
飯野工業	180	(15×40)	
協和本型	150	(10×50)	
半田鉄工	120	(10×40)	
共同事務所	60	(9×22)	
食堂、浴場	90	(14×22)	
設備費(電力、クレーン、キューボラ)			3,900万円
総計			18,000万円

土地、建物は産炭地振興事業団、設備費は商工中金

より長期の融資を受けた。

(共同事業と施設)

我々グループとして八幡工作本部へ一括登録をして

いる外、2、3の大手企業との交渉も進展している。共同給食は最も喜ばれているもので、冬は暖い飯と汁、夏は冷麦、冷奴といった具合に、季節に応じた栄養あるものを1食120円(うち半額会社負担)で給食している。敷地が広いので、バッティング・キャッチボールで昼休みは賑う。また、プール(池)は長さ500m、巾100mのまことに広いもので、夏季はカップ天国だ。スイスイ抜手を切って若い者が遊泳している風景は日本広しと雖もここならではの独得の姿であろう。尤もマムシが出たとか出ぬとかで一騒動起した事もあったが。

(将来の展望)

昨秋より吹き始めた不況のため仕事量の増大にも拘らず低単価のため利潤を生みだすのに一苦勞している。設備と人手は従来のもでも楽に2倍の生産が上るのだが、受注面での今一層の努力を必要としている。この上は景気回復を待って一挙に創意爆発、生産倍増を虎視眈々と狙っている現状である。

(結 び)

団地へ出て来てどうだった？と会う人ごと聞かれるのであるが、景気さえ順調であったら、こんな結構なことはないと思う。要はタイミングが一番問題である。我々も、もう1年早いか遅いかすれば、ずいぶん金融的に気が楽であったろう。

四囲は緑の山々にかこまれているが、更に広い敷地

内には至るところ樹を植えて、緑の取場を作り落ち着いた雰囲気をかもし出したい。工場間の連絡道路にはアスファルトを敷きたいが、1、300万円かかるので当分は現状で我慢しておこう。

あれもこれも夢ばかりが果しくなくふくらんでいく昨今である。

人 事

佐 田 正 兼

企業は、もともと精密な時計の様なものである。時計は、そのすべての部分品が調和して働くことによって、正確に時を刻むものである。しかも、時計の中にある部分品は、すべて必要なものしかついていない。

ところが、時計よりもはるかに複雑で精密に計画されていなければならないはずの企業組織内に、ぎこちない歯車や、きびついてテコでも動かない部品が存在しようとしたら、まったくおかしな話である。

ある部分品が不良のために時計が動かないとしたらだれでもその部分品を取り替えるであろう。それは、たった1つの部分品のために全体が動かないとしたら残る部分品は、はじめからなかったと同じ結果になるからである。

企業内の人間も同じである。1人の無能者は、その人だけでなく他の多くの人をも、無能者と同じ状態にしてしまう可能性がある。だから、それはかならず組織から取り除かねばならない。

ただこの場合、人と時計の部品と違うことがある。それは、人間であるために、このような刺激が、他の人々の自己啓発をうながすということである。というよりも、このような適材適所主義があつて始めて、すべての人が、組織内の重要なポストにつきうるという夢を持ち、モラルを高めうるのである。

ところで、わが国経営のひとつの特色である終身雇用制度について、その欠陥はすでに論じつくされたようにみえる。そのためか、近頃では逆に、アメリカ的的人事管理のドライさにくらべて、終身雇用制度にもよさがあるというような説も出てきた。しかし、そのいずれも、終身雇用制度のまずさの本質が理解されていない議論のような気がする。

トコロテン式人事の一番の問題は、その仕事にふさわしくない人物に権限を与えるところにある。

管理者とは決定者である。その決定者が誤った決定を下したのではたまらない。いや、誤った決定でも、とにかく権限を行使すればまだよい。そうすれば、すくなくとも無能かどうか証明されるだろう。いちばん困るのは「決めない」ことである。このような管理者を排除さえすれば、ほかの者が安心して仕事に従事できるというだけでも成功である。

経営は冷酷である。まかり間違えば会社はつぶれるだから経営者、管理者は人事を真剣に考える必要がある。無能な人物は、いないよりもっと具合が悪い。無能でなくても、仕事に不必要な人間は、かならずラインからははずすべきである。

「随 筆」

ミニ雑感 H・I

若い婦人が膝上15～20センチ或はそれ以上も露出した脚線美はまことに魅力的で、久米の仙人ならずとも神通力を失いそうな美しさがある。これが充分に春の太陽と風とを受入れて大道を濶歩している姿は、まことに活潑で健康的ですがすがしい。この女性のミニ風俗が一時はロングやマキシに追われるかとも噂されたが意外に長命である。ある服飾専門家は、その理由として合理性をあげる。現在の過密社会を生き抜くには、行動的かつ健康的でなければならぬ。又、物価高を泳ぎ切るには経済的でなければならぬ。これら三つの要請にピッタリと当てはまる必要にして充分な条件の服装がミニだ と言う説。おまけに、開放的なところは、管理社会からの脱出を願い、自由を求める気分さえ満足させてくれるともいう。むろんモードの世界はこの外にも感覚的な理由がいろいろあろうが、要するに、時代の求める趣味と実益がほどほどに満たされているのだろう。

新入会員紹介



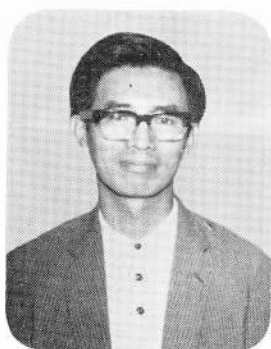
飯野 信太郎

昭和7年10月生
(39才)

(有)飯野工業所の社長であり、本年4月より、飯野グループの理事長の大役を引受け、八面六臂の大活躍の毎日である。

青年会の入会は遅過ぎたきらいはあるが、会の発展に力を注ぐ事に間違いのない人物である。

趣味は麻雀の外付合事なら一通りはする。家庭にあつては1男2女のパパ(経営委所属)

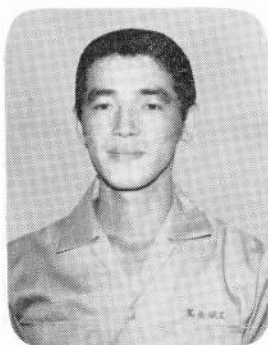


渡辺 茂

昭和11年1月生
(35才)

渡辺鉄工御曹子
明専卒業後安川電機に4月迄勤務、溝堀で鋳物業では老舗の3代目を受継ぐインテリ青年である。父

親病気の為、日夜を分たず仕事に励み、父親ゆずりの真面目さは青年会では誰にも劣ることはなからう。3男の父(労務厚生委所属)



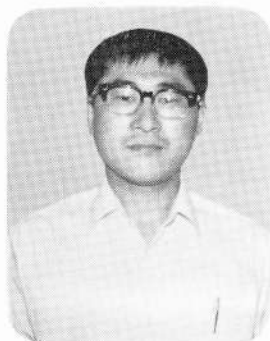
高倉 定

昭和21年12月生
(24才)

福大卒業後、父親の経営する明神鉄工団地の高倉鉄工所に入社し、目下社長業を一生懸命勉強中の見

からのファイトマンの好青年である。

仕事も趣味もやり出したらトコトン迄やらねば気がすまぬ青年とおみうけた。(総務委所属)



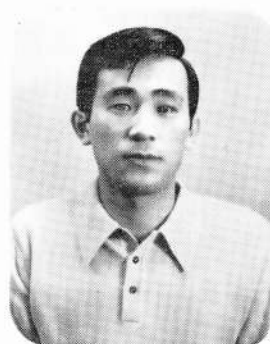
山口 賢次郎

昭和11年10月生
(34才)

九州では唯一の上水用の鋳鉄管の製造会社である。その名の通り九州鋳鉄管の社長の甥にあたり、現在工場次長として技

術開発研究等に活躍されています。

余暇を見ては気分転換にマージャンを少々やる位で家族思いの好青年であり将来が楽しみです。家族構成は1男1女のパパ



内藤 剛

昭和17年10月生
(29才)

慶大を卒業後直ちに日本鋼管に勤務。兄博俊君と同じコースで帰直。直方でバレーボールと聞えば内藤鍛造所と答が返っ

て来る様になったのは、剛君の力が加わってからではないでしょうか。名前は「つよい」が気はやさしく典型的な世に云う慶応ボーイと云う所です。

家には美人のテル子夫人と、彼との間に出来た未来のミス・ニッポン美知子嬢とが居られます。趣味はバレーボールと観劇(労務厚生委所属)

広報委員会よりお願い

瑞雲の発行が遅れて申し訳ありません。皆様には種々取材に関してはお骨折り戴き有難う御座いました。今後も皆様の随筆、趣味、或は雑感、要望等をどしどし投稿して下さい。瑞雲の価値性は皆様の双肩にかかっています。何卒御協力、御鞭撻をお願い致します。

発行所 直方市殿町 直方鉄工協同組合内
直方鉄工青年会 TEL ② 3241

発行日 昭和46年9月1日

号数 第12号

編集者 磯辺 秀久

印刷所 大同精版印刷(株) TEL ② 0878